

平成 30 年 6 月 20 日

沖縄県立看護大学

沖縄県立看護大学における電子メールの不正転送被害による 個人情報の漏えいについて

1 事案概要

5 月 15 日(火)、本学教職員宛に本学で利用しているクラウドサービスの名前を騙る英語のフィッシングメールが届き、教職員の 1 名が偽のログインサイトに誘導され、ID 及びパスワードを入力した。

その後、5 月 15 日(火)～6 月 6 日(水)にかけて当該教職員宛のメールが不正に外部に転送され、学外関係者、教職員、学生の個人情報等が漏えいしていることが、6 月 6 日(水)に確認された。

判明と同時に、当該教職員の転送設定の解除、及びパスワードの変更を行った。また、全教職員、学生への注意喚起を行い、他の教職員への不正な設定変更がないことを確認した。

2 不正転送されたメールの数 (6 月 20 日現在)

5 月 15 日(火)～6 月 6 日(水)に当該教職員宛に送付された 313 件のうち 210 件

3 漏えいが確認された個人情報 (6 月 20 日現在)

個人情報の総件数	330 件 (重複分を除く)
個人氏名	330 件 (学内関係者 295 件、沖縄県職員 24 件、学外関係者 11 件)
メールアドレス	140 件 (学内関係者 100 件、沖縄県職員 33 件、学外関係者 7 件)
クラウドサービスパスワード	1 件 (学内関係者) *変更済み
個人電話番号	50 件 (学内関係者)
大学職員番号	3 件 (学内関係者)
研究者番号*1	4 件 (学外関係者 3 件) *1 科学研究助成事業 (公開情報)
大学学籍番号	159 件 (学内関係者)

4 経緯

5 月 15 日(火) 本学教職員宛にクラウドメールサービスの名前を騙る英語のフィッシングメールが届き、教職員 1 名が偽のログインサイトに誘導され、ID およびパスワードを入力してしまった。

6 月 6 日(水) 当該教職員のメールに不正に転送設定がされており、5 月 15 日(火)～6 月 6 日(水)にかけて外部に当該教職員あてのメールが転送されていることが

判明した。

判明と同時に、当該教職員の転送設定の解除及びパスワードの変更を行った。

また、全教職員への注意喚起を行い、他の教職員に不正な設定変更がないことを確認した。

- 6月7日(木) 転送されたメールについて、不正なメールアドレスへの送信ログを取得し、個人情報等の漏えい状況の確認作業を開始
- 6月8日(金) 沖縄県警へ被害状況を報告するとともに、関係機関へ第1報を報告
- 6月14日(木) 漏えいした個人情報の内容、件数を確認し、本学総務委員会において、今後の対応等について決定し、関係機関へ第2報を報告
- 6月15日(金) 漏えいが判明した関係者に対して経緯を説明し謝罪。併せて不審なメール等に注意していただくよう依頼。*順次速やかに連絡
- 6月20日(水) 本学ホームページに概要を掲載する等情報を公開

5 今後の対応

(1) 個人情報の漏えいが確認された方への対応

個人情報が漏えいしたことについて経緯を説明し謝罪。併せて不審なメール等に対して注意していただくよう依頼します。また、本学内に相談窓口を設置し、個別の相談に対応します。

(6月20日現在、関係者から被害や悪用されたとの情報はありません)

(2) 再発防止策

学長名で全教職員、全学生に対して改めて注意を喚起し、個人情報の慎重な取り扱いについて、周知徹底する。

また、全教職員、全学生に対して、セキュリティ対策の研修を定期的実施し、情報リテラシーの向上を図り、情報管理セキュリティ対策の徹底を図る。

6 沖縄県立看護大学学長 嘉手苺英子 コメント

このたび、沖縄県立看護大学において、電子メールの不正転送被害による個人情報の漏えいが判明しました。

本学の情報セキュリティ管理面におきまして個人情報が漏えいし、関係者の皆さまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

本学としましては、今回の事態を重く受け止め、真摯に対応していくとともに、再発防止に向けて、全教職員に対して個人情報の取扱いの適切な管理について、より一層の周知を図り、情報セキュリティ対策の徹底に大学をあげて取り組んでまいります。

(お問合せ窓口) 沖縄県立看護大学事務局長 098-833-8800